

「健康経営」支援体制を強化
東京商工会議所認定「健康経営エキスパートアドバイザー」
新たに6名が認定 日本トップクラスの取得者数に！

公益財団法人中国労働衛生協会（所在地：福山市引野町 5-14-2、理事長：宮田 明）では、このたび東京商工会議所が認定する「健康経営エキスパートアドバイザー」に新たに 6 名（保健師 5 名、渉外部門担当者 1 名）が認定されました。今回の取得により、「健康経営エキスパートアドバイザー」が 10 名体制となり、事業場に対する「健康経営」の支援体制が一層強化され、多数の事業場の要望に対応できるようになりました。

1.「健康経営エキスパートアドバイザー」とは

「健康経営」に取り組む事業場に対して、課題を抽出・整理したうえで、その課題解決に必要な取り組みを提案するとともに、その実践を具体的にサポートするための専門家です。

東京商工会議所の認定資格「健康経営アドバイザー」の上位資格で、だれでも取得できる「健康経営アドバイザー」と違い、所定の有資格者・実務経験者を対象とし、筆記試験・実習型ワークショップでのロールプレイング・課題（事例に基づく健康経営診断報告書）を提出したうえで認定されます。

2. 「健康経営」推進の背景

「健康経営」とは、従業員の健康管理を経営的な視点から考え、戦略的に実践し、企業価値につなげる経営手法です。「健康経営」の導入は組織の活性化や生産性アップにつながり、企業価値の向上も期待できるもので、働き方改革の一環として経済産業省が推進しています。

「健康経営」に関心が高まっている背景として、生産年齢人口の減少や従業員の高齢化、深刻な人手不足、国民医療費の増加が挙げられます。こうした日本の構造的な課題を背景に、「人材を確保し、永くいきいきと働ける環境づくりが、継続した企業活動には不可欠」と考える経営者が増え、「健康経営」への関心が高まっています。

国と民間で組織された「日本健康会議」が 2016 年度より「健康経営」を実践している優良企業を「健康経営優良法人」として顕彰しており、認定は「健康経営」を実践している企業としての証明になります。福山でも関心が高っており、当協会でも多くの事業場に対して「健康経営」の支援を行っております。

3. 当協会の「健康経営」支援体制とその強化

当協会では、令和 2 年度より「健康経営」の支援事業を開始しました。総合労働衛生機関の強みを活かし、在籍する医師・保健師・管理栄養士・ヘルスケアトレーナーなどの専門スタッフにより「従業員が実感できる支援」を合言葉に、多くの事業場に本格的な「健康経営」の支援を行っております。また、当然ながら当協会自身も「健康経営優良法人 2021 ホワイト 500」を取得しております。

今回更に6名が「健康経営エキスパートアドバイザー」の資格を取得したことにより、より多くの事業場からの要望に対応が可能となりました。また、新たに渉外部門担当者もこの資格を取得したことにより、備後地域の「健康経営」推進のトップランナーとして、より効果的に事業場への「健康経営」の啓発、支援や「健康経営優良法人」認定のサポートを行うことができるようになりました。

当協会の支援体制を是非ご利用いただきたくご紹介させて頂きました。

4. 本件に関するお問合せ先

公益財団法人中国労働衛生協会 事業課
担当者：佐々田（健康経営エキスパートアドバイザー）
TEL：084-941-8237 FAX：084-941-8219
MAIL：sasada@churou.or.jp

